

一般社団法人ギビングフォワード 第1期事業報告書

(2019年5月21日～同年10月31日)

法人設立初年度である本事業年度は、組織基盤の確立、株主優待寄附プラットフォーム（通称「優活プロジェクト」）の立ち上げに取り組んだ。

第1 事業活動

2017年夏頃から継続的に開催してきた株主優待寄附に関する勉強会の成果を社会実装することを目的に優活プロジェクトを発足し、法人設立に先立つ2019年1月から5月にかけて、日本たばこ産業株式会社ほか2社から保有他社株式にかかる株主優待品の提供を受け、公益財団法人パブリックリソース財団（以下「PRF」という）の協力のもと、同財団の運営する寄附プラットフォーム「GiveOne」の登録団体に寄贈するトライアルを実施した。設立前の当法人は、当該トライアルにおいて、優待品提供企業とPRFとの連絡・調整、優待品寄贈先の選考など、事務局としての機能を担った。

トライアルにおいては、上記3社から査定買取事業者による査定価格ベースで総額784,532円相当の株主優待品の寄附を受け、一部換金の上、合計23団体に寄贈を実行し、その過程で、株主優待品の活用ノウハウ、コスト構造等についての知見を得ることができた。

2019年5月21日、当法人は、優活プロジェクトの事務局としての機能を引き続き果たしていくために、事務局を法人化する形で設立された。同年7月には、事務局の運営経費を捻出するべく、株主優待寄附の受け皿団体であるPRFから優活プロジェクトに関する各種業務を有償で受託することとなり、収益事業としての受託事業を開始するに至った。

その結果、同年6月から10月までの間に、上記3社からさらに総額4,205,277円相当の株主優待品の寄附を受け、合計37団体に寄贈を行うことができた。トライアルを通じてた優待品寄附の総計と換金率は下表のとおりである。

当法人が自ら企業から株主優待品の寄附を受けない理由は、当法人への寄附が公益法人等に対する寄附金控除の対象にならないためであるが、寄附金控除のニーズがない企業も存在するため、そのようなケースでは当法人が株主優待寄附の受け皿になることも将来的には検討事項である。

次年度には、優活プロジェクトの参加企業の飛躍的な増加に向けて、企業訪問や企業向けのイベント開催等の各種取り組みを実行し、株主優待寄附の普及に取り組む予定である。

	株主優待品受領総額	換金処分量（換金率）	寄贈先団体数（うち新規）
トライアル期間中（2019年1月～5月末）	784,532円	147,035円（18%）	35団体（新規23団体）
法人としての事業期間中（2019年6月～10月末）	4,205,277円	621,614円（16%）	42団体（新規14団体）
合計	4,989,809円	768,649円（15%）	77団体（新規37団体）

第2 組織運営

当法人は、理事3名、監事1名のほか、非常勤兼務スタッフ（外部委託）1名のほか、ボランティアの運営委員6名、選考委員4名という体制で運営している（すべて非常勤）。また、法人の社員は2名（代表理事と理事）である。当法人は、本事業年度において、次のとおり組織運営を行なった。

1. 臨時社員総会1回

1) 日程、会場：2019年9月19日（木）、当法人事務所会議室

目的：定款の一部変更（事業年度の終期を9月末日から10月末日に変更）

2. 理事会2回

1) 日程、会場：2019年7月17日（水）、当法人事務所会議室

目的：第1期事業契約及び予算の承認、ミクスト株式会社への業務委託契約締結の承認、理事の業務執行状況の報告 ほか

2) 日程、会場：2019年9月19日（木）、当法人事務所会議室

目的：定款の一部変更（事業年度の終期を9月末日から10月末日に変更）、臨時社員総会の招集、諸規程の承認、理事の業務執行状況の報告 ほか

3. 事務局会議4回（役員、運営委員、選考委員の有志が参加）※内容は省略

1) 日程、会場：2019年5月24日（金）、当法人事務所会議室

2) 日程、会場：2019年7月17日（水）、当法人事務所会議室

3) 日程、会場：2019年8月8日（木）、当法人事務所会議室

4) 日程、会場：2019年9月19日（木）、当法人事務所会議室

4. 選考委員会1回

1) 日程、会場：2019年7月9日（火）当法人事務所会議室 ※内容は省略

以上

事業報告の附属明細書

(2019年5月21日～同年10月31日)

1. 事業報告の内容を補足する重要な事項

該当なし

以上